

令和5年度 事業報告

令和6年3月31日
学校法人 函館国際学園

(1) 予算執行状況

① 当校を取り巻く環境

ウクライナ侵攻による社会情勢一般への影響は続けて深刻な状況にあり、オープンキャンパス参加者数および入試資料請求者数ともに伸び悩んでおります。入学確定者数は3名にとどまり極めて低調です。2月開催の「はこだてロシアまつり」は約400人もの入場者を記録して市民の皆さまの厚いご支持を得てはおりますが、それが入学希望者の増加には今一步つながっておらず、教職員・学生ともに苦慮しております。ウクライナ侵攻による停滞が長引くとともに日本社会のロシアに対する感情が日々悪化し、日ロの相互理解への努力の行き場が見失われている結果、ロシア語や文化を学ぶ方向に至る動機も見出しがたいということで、これが当校への入学希望の減少に現れているようです。

② 収入状況

予算を上回る増収はありませんでした。一方、減収の主な要因は、年度当初の在籍学生数20名に対して1名が後期から退学したことにより学生納付金370千円の減少。毎年1月に受注している税関職員ロシア語研修は昨年が続いて中止されたことから、付随事業収入が987千円の減少となっております。

③ 支出状況

玄関・廊下・事務室入口に防犯カメラを設置が213千円、玄関看板の新設に164千円の2件支出しました。収入減に合わせて一層の経費節減に努めているため、予定していた中古パソコンの買替はできませんでした。

④ 学生の留学実習

ウラジオストク本学への留学実習は現下の情勢では未だ実施不可能であり、今年度も4名の学生を9月に中央アジア・旧ソ連のキルギス国際大学にて修学させました。キルギスでは昨年の実績を踏まえ、授業内容や見学プログラムがより充実し、全員良い成果をもって帰国しました。しかしながら費用については、イスタンブール経由の航空券代の負担が大きく、175千円/人を日本たばこ産業株式会社の了承のもとに留学奨学金から支出して補助しております。

⑤ 授業時間数（コマ数）の減少と合理化

5月理事会・評議員会で承認された通り、3年生対象の「ロシア語講読」と「通訳翻訳演習」をそれぞれ重複と類似を削ぐことで合理化し、授業時間数を削減済。さらに来期より1年生前期、3年生前期および4年生前期にて若干時間数を削減して合理化いたします。これによる経費の変化はないものの、1日3コマ（90分/コマ）以内を実現し教員の余裕時間を確保します。

⑥ 一般からの寄付

幅広く経営への支援を求めするため、寄付の申込制度を整え、ホームページ上に「ご寄付のお願い」の項目を新設するなどの努力を重ねております。

令和5年3月	35件	1,705,000円	令和6年3月	43件	1,443,000円
--------	-----	------------	--------	-----	------------

(2) 学生数の異動状況 (年度当初) 在籍 20名 (年度末) 在籍 18名

1年生1名が体調不良で前期に退学。また昨年度、体調不良で1年生に留年していた学生1名が病気療養のため年度末に退学しました。

学 年	1 年		2 年		3 年	4 年	合 計
	ロシア語科 211	地域学科 411	ロシア語科 221	地域学科 421	地域学科 431	地域学科 441	
年度当初	3 (休0)	5 (休1)	3 (休0)	2 (休1)	4 (休0)	3 (休0)	20 (休2)
現 在	2 (休0)	4 (休0)	3 (休0)	2 (休0)	4 (休0)	3 (休0)	18 (休0)

(3) 事業推進

- ① 学生数は少ないものの、学内外の行事への積極的な参加が目立ち、相互に向上する姿が見られます。2月開催のはこだてロシアまつりでは来場者アンケート結果でも、キルギス留学報告やロシア語詩の暗唱といった学生発表の内容がよかった、学生がよく働いて好感を持った、というような評価が複数ありました。
- ② 補助活動事業や受託事業では、ウクライナ侵攻の煽りで、受講生の減少や税関ロシア語研修が中止されるなどの影響を受けております。日ロ交流の再開見通しも立たないことから、通訳・翻訳といった収益事業もほぼ見込みがない状況です。
- ③ 図書・文献の新刊については教員・学生の要望を把握し、有用性を判断しつつ積極的に購入・寄贈を受け入れています。

No.	書 名	著 者 名
1	日本帝国の膨張と縮小:シベリア出兵とサハリン・樺太	原暉之 他
2	プーチン:ロシアを乗っ取ったKGBたち 上	キャサリン・ベルトン 藤井清美/訳
3	プーチン:ロシアを乗っ取ったKGBたち 下	キャサリン・ベルトン 藤井清美/訳
4	ムムー	ツルゲーネフ 大森巳喜生/訳
5	ツレが「ひと」ではなかった:異類婚姻譚案内	川森博司
6	マトリョーシカのルーツを探して:「日本起源説」の謎を追う	熊野谷葉子

④ ロシア語市民講座: 4コース開設 実施

	入門(夜)	初 級	中 級	上 級	合 計
前 期 (5月～ 7月)	3	4	7	3	17名
中 期 (9月～11月)	2	4	7	3	16名
後 期 (1月～ 3月)	0	4	5	3	12名

- ⑤ はこだてベリョースカクラブ（文化講座）一年7回実施： 受講者 19名
 ・年会費3,000円のところ、学生の聴講を無料で許可していることにより、年間を通じて学生が参加しています。厳寒期（1～2月）は欠席者が増えることから、年内で終了するよう日程について改善しました。

No.	テ ー マ	日 付
1	ロシアの地名と人名の意味	5/15
2	歌手アーラ・プガチョワについて	6/12
3	函館の初代駐日ロシア領事館に海軍から派遣されてきた三人の「見習い水兵」	7/10
4	ロシア語と英語の関係	9/25
5	ロシアのテレビ番組「エララーシュ」	10/16
6	ロシア人の生活の中にある猫	11/13
7	ロシアのサウナと温泉	12/13

- ⑥ 学報「ミリオン・ズビョースト」115～118号 発行済
 ⑦ 市内小学生向け「夏休みマトリョーシカ絵付け教室」 10組 8月実施済
 ⑧ 「オトナのマトリョーシカ絵付け教室」 10名 12月実施済
 ⑨ 学生・職員が撮影した写真を使用した2024オリジナルカレンダーの発行 12月実施済
 ⑩ 第26回はこだてロシアまつり（市民約400名来場） 2月実施済
 ⑪ ウラジオストク本学から例年受け入れている留学生は日ロ双方の合意のもとに延期

（４）就職支援活動状況

卒業予定者のロシア語科（2年制）の4名のうち2名が進学、2名は卒業後に地元に戻り各々仕事を探す予定です。ロシア地域学科（4年制）は3名のうち1名が就職、1名は進学、残る1名は病気療養です。

すでに3年生以下に対する就職支援を開始していますが、現下の情勢から、学生が希望するロシア関係の求人が皆無のため、広く一般の雇用需要を対象とする方針です。

- ① 事務局による個別相談： 求人発掘、適性の把握、会社選別や就職対策の指導、メンタル面の管理、履歴書の書き方、面接指導
- ② 学生の進路希望についてのアンケートを分析して対応
- ③ 企業説明会やインターンシップへの参加誘導
- ④ ハローワーク、ジョブカフェ北海道、ジョブキタ等、外部の就職コンテンツも活用
- ⑤ 就職した卒業生との連携
- ⑥ ロシア語能力検定試験（テルキ）受験対策講座 5～7月実施済
- ⑦ 外部コンテンツの積極的活用
- ・函館税務署による「税に関する講演会」開催 6月実施済
 - ・就職ガイダンス（北海道警察・第一管区海上保安部） 10月実施済
 - ・ジョブカフェ北海道主催・㈱ウロコマシナリーと㈱函館国際ホテルによる「企業と学生の交流会」 1月実施済
- ⑧ 3月1日解禁の企業説明会、就職相談会への参加を学生に推奨

(5) 学生の活動状況

「学生自治会」と密に連携を図りながら、学生のやる気と自立心を高めることを目標に指導しております。

- ① 学外のロシア語弁論大会に延べ6名が挑戦し、いずれも上位独占の好結果を得ております。その積極的な姿勢が、他の学生にもよい刺激を与えております。

全国ロシア語コンクール（東京） 初級部門 ロシア語科1年生 第1位 6月実施済

全道ロシア語弁論大会(札幌) Aクラス ロシア語科2年生 第1位 12月実施済

〃 ロシア地域学科4年生 第2位

Bクラス ロシア地域学科1年生 第1位

〃 ロシア語科1年生 第2位

創価大学ロシア語スピーチコンテスト(東京) エレメンタリー部門 12月実施済
ロシア地域学科1年生 第1位

- ② 昼食供給プロジェクト:JASSO(日本学生支援機構)の物価高経済対策支援金130,000円が供与された実績をベースに、当校作成オリジナルカレンダーの昨年度の販売収益42,051円を加え、計314,700円(約630食分)を、学生食堂を利用する学生が無料で昼食をとれるよう支援しました。

- ③ 農業プロジェクト「アグリ八幡坂」:函館ハリストス正教会敷地内の畑を借りて農作業を行い、収穫した野菜や、秋野菜で作った漬物を学生食堂で提供しました。ロシアまつりでは写真展示による活動報告のほか、ピーツの試食も行い好評でした。

- ④ このほかの学生サークル活動を奨励するために、ロシア語歌謡(コール八幡坂)、空き教室を利用した軽量ジムトレーニングを運営しています。

- ⑤ 1年「貿易実務」授業における税関・コンテナヤード見学 10月実施済

- ⑥ キャンパス・コンソーシアム函館(CCH)アカデミックリンク発表会
4年ぶりの対面開催に2チームが参加、および終了後にオンライン上の成果発表会
11~12月実施済

- ⑦ 校内の学習発表会 A B B Γ-Day(アーバーヴェーゲーデー) 12月実施済

- ⑧ 「はこだてロシアまつり」の開催 R6/2月実施済

(6) 教育活動、地域貢献等

- ① 新ひだか町立静内第三中学校修学旅行受入 4月実施済

- ② 函館港まつり・いか踊り参加 8月実施済

- ③ CCH 函館西高校出前講座に講師派遣 9月実施済

- ④ 開港5都市景観まちづくり会議函館大会に講師派遣 9月実施済

- ⑤ 室蘭工業大学公開講座「ロシア文化をのぞいてみよう！」に講師派遣 9月実施済

- ⑥ 桜美林大学「文部科学省・科学研究費による『外国大学の日本校の調査』」協力 10月実施済

- ⑦ 富山県立伏木高校でロシア語を履修する2年生の研修受入 12月実施済

- ⑧ CCH 図書館合同展示「はこだてLL文庫」の開催(WEB) 10~11月実施済

- ⑨ 「函館の歴史を学ぼうかい」歴史講座に講師派遣 12月実施済

- ⑩ CCH 図書館連携プロジェクト・ライブラリーリンク研修会への参加 R6/3月実施済

(7) 理事会・評議員会等の開催状況

月 日	会 議	議 題
4月19日	会計監査	令和4年度 財産状況・業務執行状況監査
5月24日	理 事 会 評議員会	役員人事 令和4年度 事業報告および収支決算報告 令和5年度 事業計画(案)および収支予算(案) 経営5ヵ年計画進捗状況
11月22日	理 事 会 評議員会	令和5年度 事業中間報告及び収支決算見込みについて 令和5年度 補正予算(案)
令和6年3月21日	理 事 会 評議員会	令和5年度 事業報告および収支決算見込み

(8) その他

① 役員賠償責任保険の更新

役員賠償責任について、トラブル防止のために監督官庁から推奨される施策に基づいて来年度も役員賠償責任保険を2024年4月～2025年3月として更新しております。

② ウラジオストック本学との合意と卒業証書

令和2年5月27日付けで締結した「ネットワーク方式教育プログラム実行契約書」にもとづき、本年も2023年7月3日付卒業証書(6名分)を令和5年12月4日に無事受領しております。